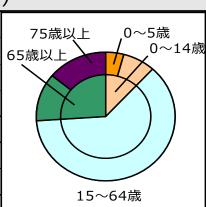
船橋市地区別防災カルテ

平成29·30年度作成 令和6年11月修正

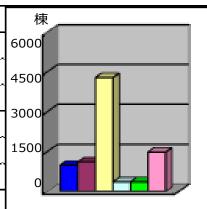
地区の構成	地区の概要					
習志野台1~8丁目	位置	習志野台地区は、市の東部に位置し、東は八千代市に隣接する。				
西習志野1~4丁目	地形	大部分が下総台地で、一部に谷底低地とその盛土地が見られる。下総台				
習志野台4丁目	לולטיג	地と谷底低地の境界には、浸食崖による急傾斜地が存在する。				
(住居表示実施外) ————————————————————————————————————	土地	昭和42年に習志野台団地の入居が開始され、高根台団地と連続した地群が形成された。このため、地区のほとんどは宅地である。北習志野				
	利用	北口には商店街が形成され、地区の東端には日本大学や付属中学・高校などの教育施設の広い敷地が見られる。				
		 鉄道は新京成線の習志野駅、北習志野駅、高根木戸駅があり、北習志野駅 で東葉高速線と連絡している。主な道路は、地区の南を縁取る国道296				
		号(成田街道)および地区を縦断する習志野台・高根木戸線がある。				

社会条件(H29·30年度資料作成時点)

	0~14歳		5,195	人	11.8%	(対地区)
	(内0~5歳)		1,851	人	4.2%	(対地区)
1	15~64歳		27,318	人	62.1%	(対地区)
人	65歳以上		11,463	人	26.1%	(対地区)
中 等	(内75歳以上)		6,177	人	14.0%	(対地区)
	人口(合計)		43,976	人	6.9%	(対全市)
	人口密度		11,204	人/k		
	世帯数		20,332	世帯	6.8%	(対全市)

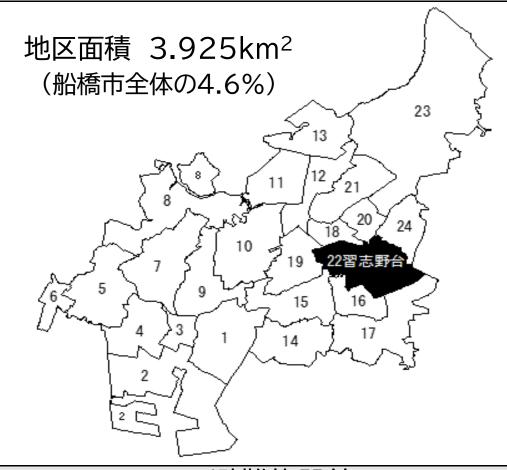


建物	建物棟数										
+	昭和45年以前		986	棟	11.5%	(対地区)					
小 造	昭和46~55年		1,115	棟	13.0%	(対地区)					
Ų	昭和56年以後		4,281	棟	49.9%	(対地区)					
非	昭和46年以前		357	棟	4.2%	(対地区)					
木	昭和47~56年		359	棟	4.2%	(対地区)					
造	昭和57年以後		1,479	棟	17.2%	(対地区)					
	建物(合計)		8,577	棟	6.1%	(対全市)					



※建物棟数は小数点以下を四捨五入しており、表の合計値と合致しない場合があります。

22. 習志野台地区



避難施設等

一時避難場所·広域避難場所

一時:総合体育館(船橋アリーナ),高郷小学校,習志野台第 一小学校,習志野台第二小学校,習志野台中学校,日本大 学理工学部

広域:北習志野近隣公園

津波一時避難施設

宿泊可能避難所

総合体育館(船橋アリーナ), 高郷小学校, 習志野台第一小学校, 習志野台第二小学校, 習志野台中学校, 日本大学理工学部, 習志野台公民館

福祉避難所

習志野台公民館

災害医療協力病院·病院前救護所

北習志野花輪病院

災害予測の結果(概要)

項目		主な予測結果	危険度評価 →高い			j→ř	高い	概要			
直工	地震の揺れの強さ	平均震度6強						とても強い揺れが予測されている。			
下葉	液状化の危険性	一部を除き危険性は低い						地区の大部分は台地上で危険性はない。			
県 北	建物被害	全半壊率22%						強い揺れの範囲を中心に建物被害が予測されている。			
易部	延焼(冬18時)	建物焼失割合4.7%						地区の南部で延焼の可能性が予測されている。			
	人的被害(冬18時)	死傷者予測数333人						主に建物被害による負傷者が予測されている。			

東部 地域

地区名: 習志野台

避難所·避難場所等分布図 22. 習志野台地区

1 洪 高 土 地 津 火 火 水 潮 砂 震 波 災 山 施設名 所在地 避難所種別 屋外収容人数 屋内収容人数 戶近隣公園 高根台第二小学校 ①総合体育館 이이이이이이이 10,501人 習志野台7-5-1 泫 392人 (船橋アリーナ) ②高郷小学校 西習志野1-47-1 |이이이이이이이 2,965人 766人 宛 3 日本大学理工学部 習志野台第一小学校 ③習志野台第一小学校 泫 習志野台2-51-1 |이이이이이이이 2,950人 927人 **(5**) ④日本大学理工学部 習志野台7-24-1 泫 |이이이이이이이33,793人 488人 高郷小学校 習志野台中学校 北習志野近隣公園 **(7**) |이이이이이이이 8,992人 ⑤北習志野近隣公園 習志野台3-4-1 8 習志野台第二小学校 이이이이이이이 8,362人 ⑥習志野台中学校 習志野台6-23-1 1,155人 短 習志野台公民館 泫 이이이이이이이 4,819人 ⑦習志野台第二小学校 習志野台5-43-1 1,274人 陸上自衛隊習志野演習場 ⑧習志野台公民館 習志野台5-1-1 134人 薬円台小学校 令和6年度作成 一時的に避難するための場所で、学校の校庭や公園など屋外のオープンスペー 一時避難場所 スです。 火災の延焼の危険性があるとき、一時的に避難する場所で、安全確保の 広域避難場所 Ż ため一定の広さを有する屋外のオープンスペースです。 自宅で生活ができない被災者への宿泊や食料などを提供する屋内の仮 宿泊可能避難所 泫 宿泊施設で、主に学校の体育館などを受け入れ場所とします。 高齢者や障害者など、災害時の避難生活に支援を必要とする方を受け入 A 福祉避難所 れる屋内施設です。なお、福祉避難所は必要がある場合、開設されます。 負傷し、自身での手当てが難しい場合は、病院前救護所で治療を受 北習志野花輪病院 けることができます。緊急を要する状態の場合は救急車を要請してく 災害医療協力病院 • 病院前救護所 (習志野台2-71-10) 津波警報が発表されたとき、海から遠い高台まで避難する時間がないときなどの緊急時に身の 津波一時避難施設 安全を確保する施設で、浸水が解消し、地上を安全に歩行できるまでの間、緊急避難を受け入れま 帰宅困難者へ水やトイレ、休憩場所、情報提供などを行う施設です。 帰宅困難者支援施設

地震危険性分布図(想定震度)

22. 習志野台地区

1,000 大前駅 高根木戸駅 北智志野駅 平成30年度作成

凡例

想定される地震動の強さ - 千葉県北西部直下地震のケース-

地区名: 習志野台

6強 6弱 市域外

東部 地域

緊急輸送道路(県指定) 緊急輸送道路(市指定)

地震の様相 参考:気象庁震度階級関連解説表

- ●這わないと動くことができません。飛ばされることもあります。 ●固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなります。 ●耐震性の低い木造建築物は、傾くものや、倒れる物が多くなります。 ●大きな地割れが生じたり、大規模な地滑りや山体の崩壊が生じること があります。
- ●立っていることが困難になります。
- ●固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもあります。
- ●ドアが開かなくなることがあります。
 ●壁のタイルや窓ガラスが破損したり、落下したりすることがあります。
 ●耐震性の低い木造建築物では、瓦の落下・傾き・倒壊が生じます。

地震被害想定結果

避難所避難者数

(冬18時)

105,544

7.23%

千葉県北西部直下地震のケース										
●原因別建物]被害想定									
原因	全壊棟	数(棟)	半	裹棟	数(棟)					
	木造	非木造	木道	出	非木造					
地震動(揺れ)	587	75	75 1,0		183					
地盤の液状化	0	0	0		0					
合計	587	75	1,0	21	183					
急傾斜地崩落		0			1					
総計		662			1,205					
割合(対地区)		7.7%			14.0%					
市の合計	•	11,448		2	20,770					
割合(対市被害)		5.8%			5.8%					
●ケース別グ	●ケース別火災被害想定									
	冬5時	冬18	3時	Ę	[12時					
焼失棟数(棟)	8'		403		105					
市の合計(棟)	1,300		5,862		1,365					
割合(対市被害)	6.79		6.9%		7.7%					
●冬18時(風			の人的	被割	想定					
(冬18時の	地区内の滞				人)					
原因	死者(人)		(人)	負	傷者(人)					
建物被害	3	-	44 10 0 1 55 847		198					
火災(延焼拡大)	20	0			27					
急傾斜地崩落	(0			0					
ブロック塀等		0			2					
合計	5				226					
市の合計	789	9			3,569					
割合(対市被害)		6.5% 6.5% 6.								
●自力脱出図	●自力脱出困難者数と避難所避難者数 [※]									

自力脱出困難者数

(冬5時)

337 4,907

6.86%

地区合計

市の合計

割合

※ 避難所避難者数は、最大となる被 災3日後に、市の宿泊可能避難所に 7,635 避難する人の数を想定しています。

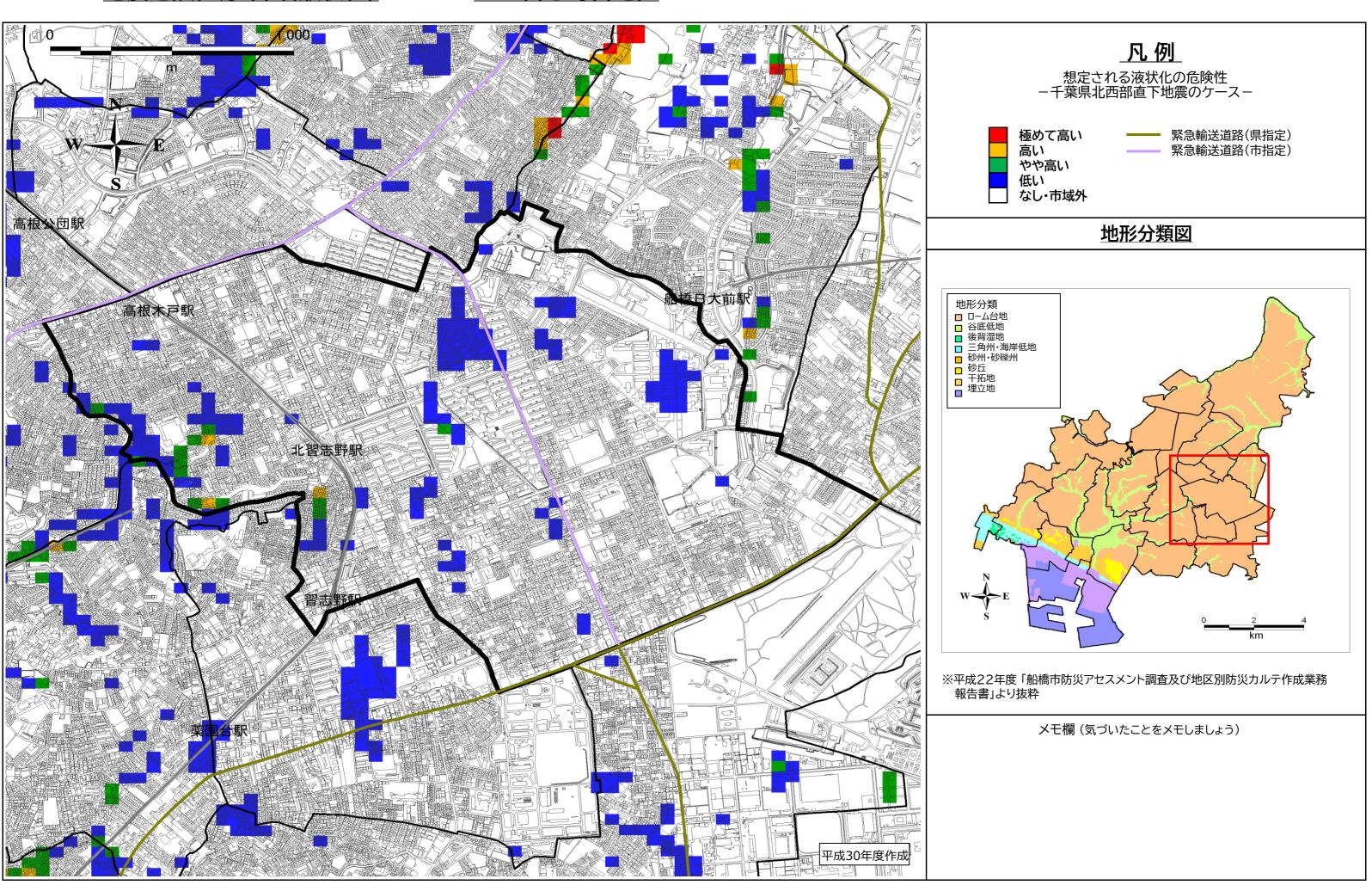
注:建物・人的被害の数値は小数点以 下を四捨五入しており、表の合計値 と合致しない場合があります。

東部 地域

地区名: 習志野台

地震危険性分布図(液状化)

22. 習志野台地区

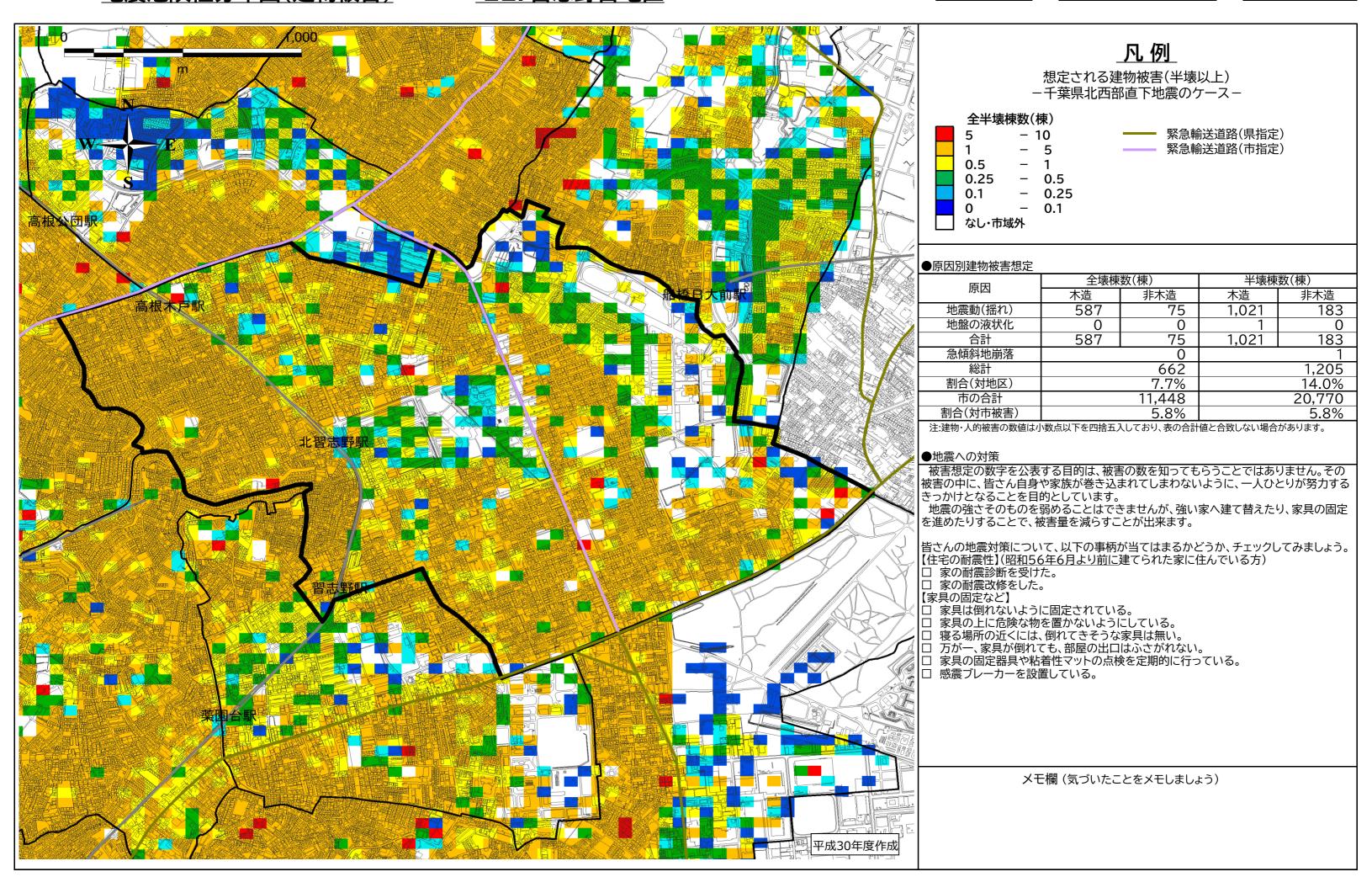


東部
地域

地区名: 習志野台

地震危険性分布図(建物被害)

22. 習志野台地区



洪水•内水•土砂災害危険性分布図

22. 習志野台地区

東部 地域 地区名:

習志野台

地区番号: 22

この図の浸水想定区域は、船橋市ハザードマッ プの「すべての河川と内水を併せた最大浸水深 (想定最大規模)」を表示しています。前提となる 条件等は、右下のコードから、船橋市ハザード マップを参照してください。

~事前の心構え~

家の周りを点検・整備しましょう

家のまわりの排水溝が詰まっていないか確認し 掃除しておきましょう。また、家の周囲に風で吹 き飛ばされそうな物があるか、雨戸や雨どいが 傷んでいないか確認しておきましょう。

・避難所や避難経路を確認しておきましょう

身近な避難所の位置を確認し、危険な箇所を避 け、安全に避難するためには、どう行けばいいの かを家族で確認しておきましょう。マイタイムライ ンを作成することも有効です。

・隣近所へ呼びかけましょう

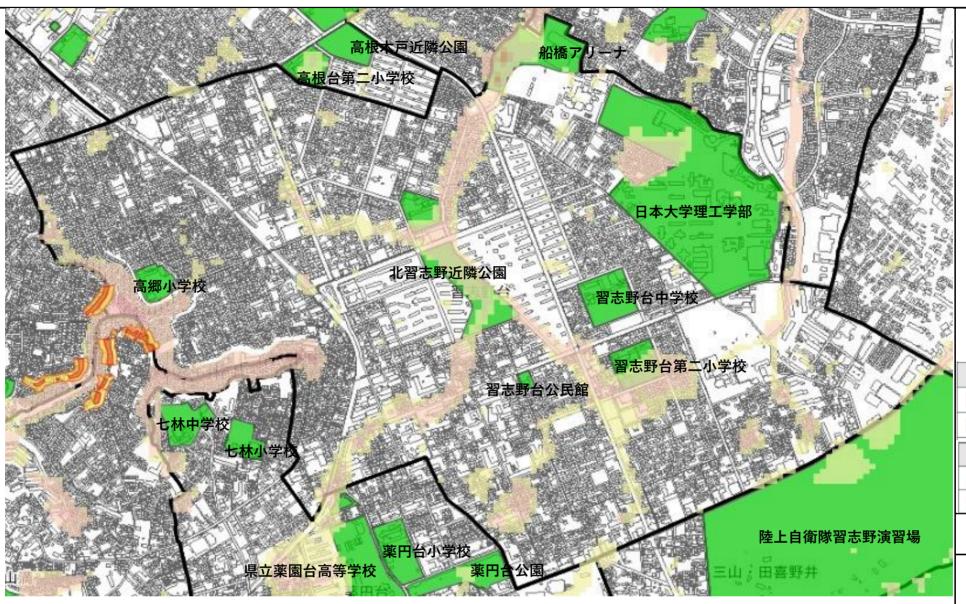
避難する際には隣近所に声をかけあい、地域で 逃げ遅れる人がいないようにしましょう。

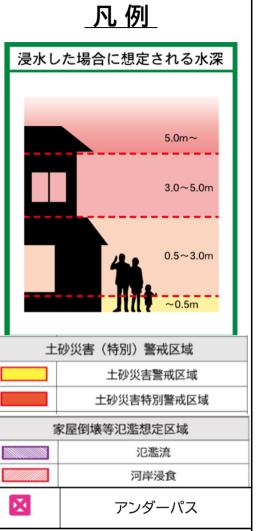
非常持出品を用意しておきましょう

避難に必要なものを事前に準備し、迅速に避難 できるようにしましょう。

~避難の心得~

- ・テレビ、ラジオ等で最新の気象情報、災害情報、 避難情報に注意し、危険を感じたり、移動に時間 がかかる場合は、早めの避難をすることが重要 です。
- ・避難をする時は、動きやすい服装で、2人以上で の避難を心がけましょう。
- ・避難の際は、できるだけ高い場所の道路を選び 浸水箇所があった場合は、溝や水路に十分注意 しましょう。また、崖地等では土砂災害に注意し ましょう。
- ・車での避難は避けましょう。緊急車両の通行の 妨げになるだけでなく、交通渋滞をまねくことや、 アンダーパス等で浸水すると車内に閉じ込めら れることがあります。
- ・想定される浸水深が浅い場合には、自宅や近く の堅牢な建物の2階以上に避難することも有効 です。
- ・既に浸水が生じており、避難所への移動が困難 な場合には、近くの頑丈な建物の2階以上に避難 するか、家の中でより安全な場所(崖から離れた 部屋や2階以上)に避難しましょう。





令和6年度作成

河川ごとの浸水想定区域や、「想定し得 る最大規模の降雨」の前提条件等は、下 記のコードの「船橋市ハザードマップ」よ り確認できます。

船橋市ハザードマップ

